



立春を迎え、暦の上では春となりました。戸外活動では、早くも椿や梅の花が見られ、寒さの中にも春の訪れを感じます。あっという間に今年度も残り2か月となりました。子どもたちの一年間の成長をかみしめながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

インフルエンザ等の感染症に関するニュースを見ない日はありません。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に十分注意し、引き続き子どもたちの健康管理に取り組んでまいりますので、ご家庭での健康管理へのご協力もよろしくお願ひいたします。

寒い時期ではありますが、しっかりと身体を動かせるよう、運動活動の充実や、個別活動における一人ひとりに応じた支援の充実を図ってまいります。

保護者評価の結果から

- 1 名 称 「育ち」の取り組みに対する保護者からの評価
2 性 質 鹿児島市で、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等を行っている事業所は、どの事業所も同じ質問内容で保護者様により事業所の取り組み状況等について評価の協力を依頼する
3 目 的 事業所の療育に関する取り組み等を保護者様により客観的に評価していただき、療育の質の向上に努める
4 実施機関 令和7年12月10日～令和8年1月10日

毎年、保護者の皆様のご協力のもと、「育ち」では保護者評価を実施しております。お忙しい中、ご回答いただき、誠にありがとうございました。

さて、「育ち」では、年に一度実施するこの保護者評価を基に、支援内容や運営についてさまざまな工夫や改善に取り組んでおります。今回の評価結果を受け、**まだ工夫・改善できる点があるのではないか**と改めて受け止め、PDCAサイクルに基づく継続的な改善に、今後も日々努めてまいりたいと考えております。

そこで、今回の「育ちだより」では、保護者評価の中で、「どちらでもない」「いいえ」「わからない」という回答が特に多かった項目（全体の3分の1以上）について、現状と今後の対策を中心にご説明いたします。その他の少数意見につきましては、詳細をホームページにて、2月18日15時以降に掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

なお、ご意見・ご質問等につきましては、各事業所の児童発達支援管理責任者が窓口となり承りますので、お気軽にご相談ください。

●チェック項目!!

児発：保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。

放デイ：放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。

【令和7年度の取り組み】

- ・戸外活動時に、同じ空間にいる地域のお子さまとの自然な交流を図る
- ・放課後等デイサービスにおいて、他事業所（第2・第3事業所）との交流も兼ね、スイカ収穫体験を実施

【解説】

毎年、このチェック項目については、「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」というご意見を多くの保護者さまからいただいております。

療育に通われているお子さまにとって、集団規模や環境の変化は大きな負担となる場合もあるため、保育園や幼稚園等との計画的・定期的な交流については、お子さま一人ひとりの特性や安心・安全の視点を最優先に考え、慎重に検討しております。

その一方で、日常の戸外活動の中で、地域のお子さまと同じ時間・空間を共有する場面に出会った際には、無理のない形で自然な関わりが生まれるよう、子ども同士の交流を大切にしています。

また、昨年度からは法人内の他事業所との交流として「育ちの事業所間交流」を実施し、今年度は、放課後等デイサービスにおいて、夏休みに第2・第3事業所の子どもたちと一緒に知覧のスイカ畑へ出かけ、スイカ収穫体験を行いました。大きなスイカをたくさん収穫する中で、子どもたちの秘めた力や協力し合う姿が多く見られ、貴重な学びの機会となりました。

保護者さまからも、「戸外活動の際に地域の子どもたちと交流している様子があり、ありがたく思う」といったお声をいただいています。こうしたご意見も励みに、今後も戸外活動を中心に、地域の中での自然な交流の機会を工夫してまいります。現段階では、保育園や幼稚園等との交流を強く求める声は多くありませんが、今

後そのようなご希望が増えてきた場合には、感染症対策の視点も踏まえながら、保護者の皆さまのニーズやお子さま一人ひとりの状況に配慮した形で、慎重に検討してまいります。

●チェック項目18

父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等により、保護者同士の交流が設けられるなど、家族への支援がされているか。またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。

【これまでの取り組み】

- ① 令和4年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話（コロナ禍）
- ② 令和5年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話
- ③ 令和6年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話+座談会（11月16日）
- ④ 令和6年度 就学相談担当による保護者説明会+座談会（3月18日）対象：令和7年度 年長児保護者
- ⑤ 令和7年度 特別支援教育コーディネーターによる保護者向け講話+座談会（11月29日）
- ⑥ 令和7年度 就学相談担当による保護者説明会+座談会（10月16日）対象：年中児保護者

【解説】

毎年、このチェック項目については、「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」といったご意見を多くの保護者さまからいただいております。父母会などの継続的な組織づくりは、保護者の皆さまのご負担や生活状況を考えると、現時点では難しい面があり、慎重に検討しているところです。

一方で、保護者同士の交流の大切さを踏まえ、令和4年度より保護者向け講話（託児所あり）を開始し、昨年度からは、講話に加えて講師をコーディネーターとした座談会の開催にも取り組んでまいりました。

今年度の座談会では、日頃の悩みや気になること、お子さんの成長について、保護者の皆さま同士でゆっくりと語り合うことができました。

●参加された保護者さまからは、以下のようなお声をいただいております。

- ①「他のご家庭の話を聞き、共感することが多かった」「うちだけじゃないんだ」と思えて安心した」
- ②「先生からのアドバイスが参考になり、気持ちが軽くなった」
- ③「同じ立場の保護者の経験や、他のお子さんの成長エピソードを聞き、自分の子の育ちを、より温かく見守っていこうと思えた」
- ④「普段、他の家庭の話を聞く機会が少ない中で、とても貴重な時間だった」「これからの環境づくりのヒントになった」

座談会を通して、保護者の皆さまの「子どもたちの成長と一緒に支えていきたい」という温かいお気持ちが伝わってきました。

今後も、就学前保護者説明会や講話・座談会の機会を活かしながら、無理のない形で保護者同士の交流が広がり、深まるよう努めてまいります。また、広報の方法についても工夫を重ね、より多くの保護者さまに参加していただけるよう計画してまいります。

各事業所から

第1事業所

①今月の行事

2月20日 避難訓練（火災）

②第1事業所では…

節分の行事を行い、恵方巻製作と鬼の顔の壁面製作に取り組みました。製作活動では指先を使う場面が多くありましたが、壁面製作では身体全体を動かしたり、お友達同士で協力したりしながら、楽しんで取り組むことができました。

完成した製作物を前に、子どもたちはノリノリで写真撮影を行い、ポーズを決めたり、お友達みんなで嬉しそうに写ったりする微笑ましい姿が見られました。

今後もさまざまな活動を通して、季節を感じられる経験を大切にしていきたいと思います。

第3事業所

①今月の行事 2月27日

避難訓練（火災）

②第3事業所では…

先月の支援エピソードをご紹介します。避難訓練への参加を拒んでいたA君。利用のたびに、避難訓練ではない日にもかかわらず、過剰に反応する様子が見られるようになっていました。



第2事業所

①今月の行事

2月13日 避難訓練（火災）

②第2事業所では…

2月に入り、再び感染症が流行しているようです。事業所でも子どもたちの体調変化に留意しながら活動に取り組みたいと思います。

さて、第2事業所は2月生まれのお子さんが多く、「今日誕生日!!」「昨日誕生日パーティーしたよ」など、嬉しそうに話題にしてくれる日が度々ありました。1年前、2年前の姿と比べると、とっても成長を感じます。これからも様々な活動を通じて楽しみを共有できる第2事業所であります。今後も保護者の皆様と共に子ども達の成長を見守り、支えていける『育ち』でありますと改めて実感させてもらった2月でした♪

A君の困り感に着目しながら、好きなことにも視点を向け、試行錯誤しながら支援方法を整えてきました。そして迎えた避難訓練の日。支援員が「消防士さんになってほしいな」と声を掛けると、「はい！どうしました？」と消防士になりきるA君。帰りには「ひなんくんれんたのしかった」と笑顔を見せてくれました。避難訓練が、楽しい時間へと変わった瞬間でした。これからも遊びを通して、苦手なことも「楽しかった」と感じてもらえるような支援を続けていきたいと思います。

